

2024年フクシマ連帯キャラバン参加報告書

全港湾東北地本小名浜支部青年部部長 松村海斗

今回初めて全日程参加しました。私が所属する小名浜支部では講師として全国からくる仲間たちに向け被災した街ごとの説明や震災当時のまま津波の被害に遭った請戸小学校・津波で亡くなってしまった人の名前が彫ってある慰霊碑・当時の原発事故などの様子が見学できる伝承館を見学してもらい話を聞くより実際に目で見て肌で感じてもらうことが1番伝わると思い計画しました。原告団の方々が当時のまま残っているお家その当時のことを話してくれました。茨城行動では各自治体の行き要請書を読みました。茨城では東海村にある東海第二原発が再稼働に向かっており、広域避難計画を進めているが私からしたら避難計画ができれば原発は再稼働してしまうのか。また福島で起きた事故がまた繰り返してしまうのかと思うとなんで再稼働を考えることができるのか私には考えられません。実際に元旦にあった能登半島の地震では広域避難計画があったのにもかかわらず土砂崩れなどの影響で使い物にならなくなりました、そこまで想定して作っているのか疑問が残ります。

最後の代々木の集会では同じ小名浜支部東北地方の書記長をしている渡邊健也さんが今回行ったキャラバンの活動被災した福島として、当時の話原発いらないよねと熱く集会参加者に向けて語りました。みんな最後はやり切ったと涙を流しました。

13年前福島で起こってしまった原発事故それが他の県だったかもしれませんし自分の住んでいる県に置き換えて考えて欲しいです。この活動は日本全体で原発は必要ないとなるまで福島の間人として強く訴え続けていきたいと思います。